

報道関係各位

ニュースリリース
2018年12月26日
株式会社アンテリオ

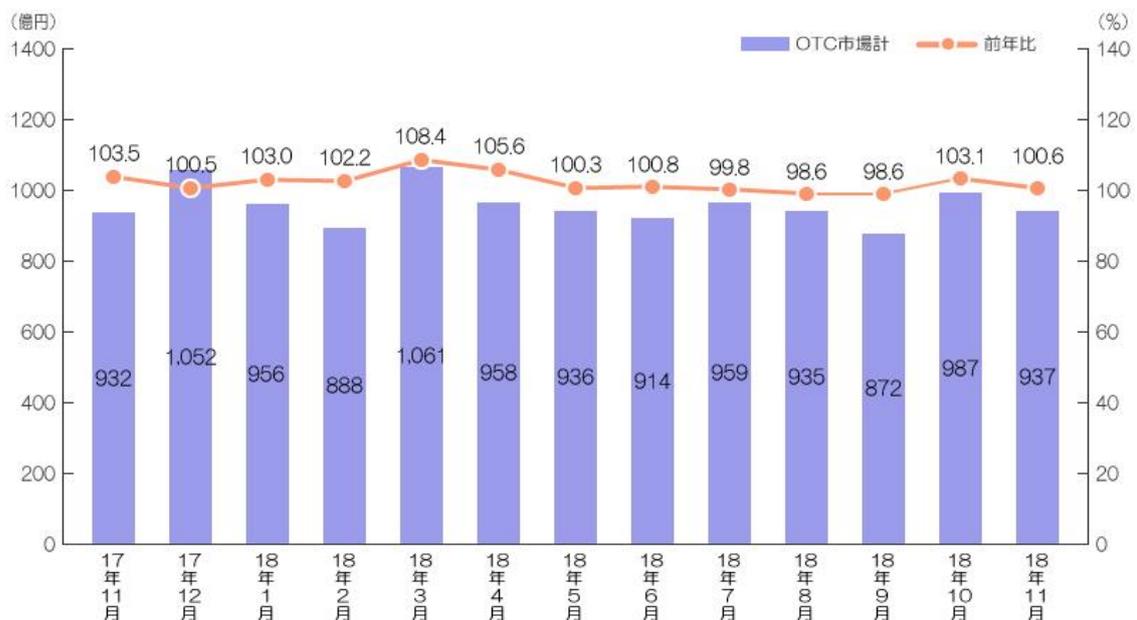
2018年11月度一般用医薬品(OTC)市場 薬効別ランキング
外用鎮痛・消炎剤が非常に好調!
スイッチ OTC が同市場の売上に大きく貢献

株式会社アンテリオ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:仁司与志矢、以下アンテリオ)は、全国一般用医薬品(OTC)販売動向調査のデータを基に、「2018年11月度一般用医薬品 薬効別ランキング」を発表しました。

※スイッチ OTC: 医療用医薬品の有効成分を一般用医薬品として使用できるようにスイッチした(切り替えた)もの。

1. 過去4年の11月で最も高い販売金額を記録 「一般医薬品(OTC)市場の販売金額推移」

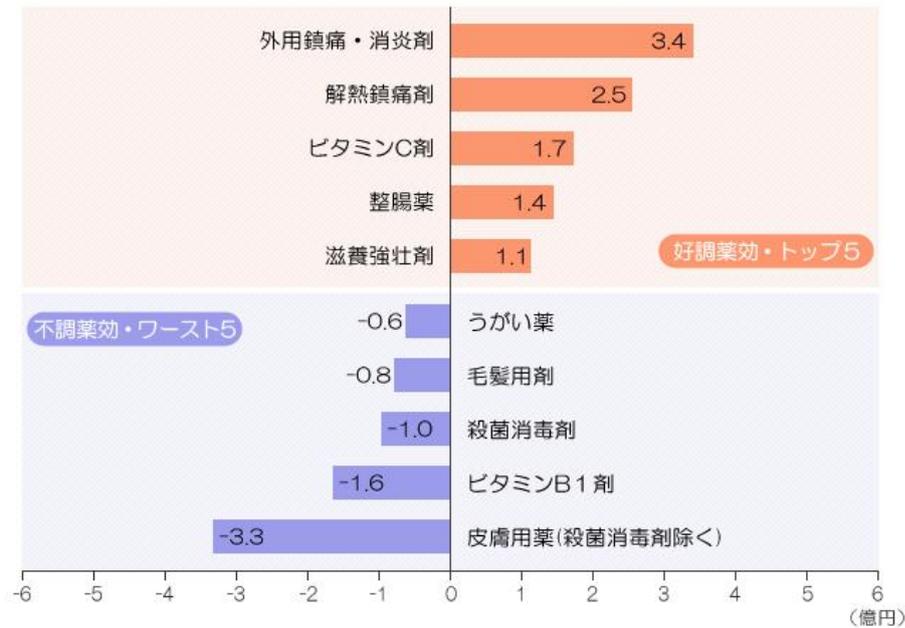
一般用医薬品(OTC)市場の販売金額推移



11月のOTC関連薬市場の販売金額は、前年同月比100.6%の937億円でした。消費が増える土日祝日が昨年より1日少なかったにもかかわらず、前月から2か月連続で対前年プラスとなり、好調に推移しました。

2. 外用鎮痛・消炎剤が非常に好調！ 一方、気温が高かったことで保湿系の皮膚用薬は不調 「好調薬効トップ5、不調薬効ワースト5(金額前年同月差)」

当月度好不調薬効 前年差



11月に好調だった薬効は外用鎮痛・消炎剤で、前年同月差3.4億円のプラスとなりました。中でも、肩こり・腰痛に塗るタイプのマッサージ用薬(液・軟膏・クリーム)が対前年同月比115%、プラスター剤が105%と非常に良く売れました。

一方、不調だったのは天候に左右されやすい皮膚用薬(殺菌消毒剤を除く)で、前年同月差3.3億円のマイナスとなりました。ジャータイプの容器に代表される保湿系商品の売れ行きが悪く、これは気温が高めだったことで乾燥から来る痒みに悩む人が少なかったためと推察されます。また前月の10月が好調だったことの反動も不調要因の1つとして挙げられます。

【11月のトピック：スイッチOTCが売上に大きく貢献している外用鎮痛・消炎剤市場】

11月の外用鎮痛・消炎剤の売上は、過去4年の11月の平均を100とした指数で103.2で、10月に引き続き最高水準となりました。9～10月に相次いで新発売となった商品が大幅に伸長しただけでなく、既存の人気ブランドのシリーズ商品も好調に推移しています。

医薬品の有効成分で見ると、インドメタシンやフェルビナク、ジクロフェナクナトリウムといったスイッチOTCが、この市場の売上に大きく貢献しています。

◆SDI(全国一般用医薬品パネル調査)◆1960年調査開始 ※2018年4月度から調査設計を変更しました

対象業態	OTC 医薬品を販売しているドラッグストア、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター・ディスカウントストア
エリア	全国
調査店舗数	3,245 店舗
データ収集方法	POS データのオンライン収集
対象カテゴリー	医薬品、医薬部外品 (対象カテゴリーのバーコードが付与されている商品のみ)
調査項目	各店舗におけるバーコード別の販売年月日、販売個数、販売金額など

【株式会社アンテリオ】 <http://www.anterio.co.jp/>

株式会社アンテリオ(本社:東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 御茶ノ水ソランティ 13階、設立年月:1994年12月、代表取締役社長:仁司与志矢)は、調査、企画、分析における高度なスキルと豊富な経験・知識をコア・コンピタンスとし、ヘルスケア領域のマーケティングリサーチに精通したトップカンパニー。インテージグループの一員として健康食品から一般用・医療用医薬品、医療機器までの幅広いヘルスケア領域のあらゆる課題に対して最適な意思決定をサポートしています。

【報道関係のお問い合わせ先】

■株式会社アンテリオ

経営企画部 林(はやし)

TEL:03-5294-8393(代) E-mail:pr-ant@anterio.co.jp

【本調査に関するお問い合わせ先】

■株式会社アンテリオ

コンシューマーヘルスケア事業部 コンシューマーヘルスケア・ソリューション部

担当:有方(ありかた)

TEL:03-5294-8393(代)

アンテリオ「お問合せフォーム」 <http://www.anterio.co.jp/contact/service.php>